

事務事業名	三刀屋文化体育館管理事業		所属部	教育委員会	所属課	社会教育課スポーツ文化振興室			
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	スポーツ文化振興G	課長名	原田 憲一		
	施策名	〈30〉生涯スポーツの振興		担当者名	原田 憲一	電話番号	0854-40-1073 (内線) 2241		
	目的対象	市民	意図	生涯を通じて、スポーツや運動に親しみ、スポーツや運動を楽しみ、支える。					
	基本事業	〈088〉スポーツ環境の充実		予算科目	0:150:0:1	大事業名	体育施設管理事業		
目的対象	市民	意図	スポーツ活動に親しむ。				3:0:1:0:1:3	中事業名	三刀屋文化体育館管理事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市民	施設を利用することにより、体力の向上、健康増進等が図られ、交流を通して人づくり・地域づくりに繋げる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・三刀屋文化体育館アスパルの施設管理運営(指定管理施設) ・基本協定及び年度協定に基づく指定管理委託料の支払い ・施設管理業務に関わる指定管理者との協議 ・修繕が必要となった場合の予算措置、契約 など
④ 主な活動 R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	⑤ これまでの改革・改善経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
①指定管理料算定事務 ②年度協定締結業務 ③指定管理料支払い ④協議 ⑤修繕対応	指定管理施設の管理のみではなく、施設を活用した事業が行われ、施設の有効活用が図られている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 施設利用者数	人	54,605	29,648	38,057	40,000
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)		② コストの推移		単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
委託料	22,572千円(指定管理料)	財源内訳	国庫支出金	千円				
備品購入費	1,925千円		県支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
計	24,497千円		一般財源	千円	22,431	22,575	24,497	22,572
		事業費計		千円	22,431	22,575	24,497	22,572

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)キラキラ雲南と指定管理協定により施設管理を行っている。 ・スポーツに関する自主事業を実施し利用者からは一定の評価を得られている。 ・老朽化していたトレーニング機器の更新を行い利用者のニーズに対応した。
② 事業実施するうえでの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・直営管理をしていた施設を、指定管理者制度を導入したことにより事務量の大幅な軽減に繋がっている。 また、指定管理者により適切な管理・運営が行われている。
③ 課題解決に向けた改革改善等	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度から3年間指定管理の契約を結んでいて、指定管理者による適切な管理が行われている。加えて多くの企画事業が行われ、施設の有効活用が図られている。 ・2030島根国民スポーツ大会のレスリング会場となることが決定している。大会開催前の施設整備についても計画的に進めていく必要がある。 ・当面は、感染症対策を講じた施設運営が必要となる。